

電機連合さんいん No.3

Sanin

Japanese Electrical Electronic & Information Union

電機連合山陰地方協議会

〒680-8634 鳥取県鳥取市立川町7-101

TEL: 0857-21-2280

FAX: 0857-21-2279

E-mail: denki.sanin@jeiu.or.jp

■発行責任者 石田 研二

■編集責任者 西川 真也

新年のご挨拶

電機連合山陰地方協議会

議長 石田 研二



■皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年、山陰地協の諸活動につきまして、多くの皆さんにお支えいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

■嬉しいニュース

さて、2013年の10大ニュースといえば色々となりましたが、私にとって最も大きいニュースは、2020年の東京オリンピック開催決定です。ちなみに東京開催は2回目と思っていたのですが、1940年に開催権を返上した経緯があるので、回次でいうと3回目になるそうです。また経済効果は、ある研究機関の試算によると総額3.5兆円規模になるとも言われています。戦後の日本が急速な経済復興を果たしていく中で、当時のオリンピック開催がどれだけ国民や社会に影響を与えたかを知らない世代の私にとっては、一度は見てみたい・感じてみたいと思っています。

■巨大与党は何処へ向かうのか

昨夏の参議院選挙では自公政権が圧勝し、ねじれ国会が解消されました。その後の政権は何か奔走するように消費税8%導入、TPP交渉参加、特定秘密保護法可決など、様々な案件を進めてきています。野党の反対や世論が騒がしくなっても、巨大与党となった政権は、言い過ぎかもしれませんが思う通りに事を運んでいるように見えます。今の段階で現政権を評価するには今しばらく時間が必要でしょうが、せめて巨大与党に対峙していくだけの野党の力は必要だと思います。そうでなければ、矢継ぎ早に放たれる様々な法改正によって、国の形や理念さえ変化してしまう恐れがあるからです。いずれ次期国政選挙が行われる時がやってきますが、その時に国民

の正しい目で、しっかりと判断されることを願うところです。

■電機産業の発展に向けて

2012年末からの円安や株高によって、特に輸出をベースとした国内製造業を中心に業績が大幅に改善しました。今後も政府の緊急経済対策の本格化による公共投資や、企業の設備投資等が増加傾向によって一定の経済成長は続くものと見られています。また、4月からの消費税率引き上げを控えた駆け込み需要が本格化する見通しで、仮に増税後の反動があったとしても、前述の経済対策効果で景気腰折れは回避される見込みが高いとされています。今後も円安傾向は続くものと見られる一方で、特に電機産業では積極的な海外シフトや国際的な分業体制の構築等、為替変動の影響を直接受けにくい事業体制に変化してきています。この結果、将来的には「円安≠国内製造業良化」といった構図は当てはまらなくなるかもしれません。いずれにしても、電機連合として電機産業の持つ構造的課題の解決に向けた取り組みとともに、各企業の経営を支える私たち働くものの懸命な努力が必要なおことに変わりはありません。

■2014年は飛躍の午年に

今年の干支は午ですが、東京証券所のある兜町に伝わる干支と相場格言の関係で見ると、2012年～2013年は「辰巳天井」、2014年は「午尻下がり」といって株式・マーケットの世界ではあまり良い年ではないそうです。もちろん理論的な裏づけがあるわけではないのですが、過去の日経平均騰落率を干支毎に見ると、不思議なことに以外と当たっています。だからといって、不安だけを募らせて心配してもしょうがありません。「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」と言われる縁起のいい馬ですから、その馬に乗るつもりで元気に新しい年を駆けていきましょう。



電機連合山陰地協は、9月20日(金)松江市「玉造グランドホテル長生閣」において、代議員・傍聴者・役員を合わせ66名の参加のもと、第20回定期大会を開催しました。

大会は小村大会書記長(シャープ米子)の司会で始まり、議長団には石賀代議員(オムロンスイッチアンドデバイス)と浅田代議員(大真空鳥取)が選出されました。その後、石田議長より地協を代表し、①第23回参議院議員選挙において組織内公認候補の『石上としお』さんが見事当選でき、皆様のご支援に感謝したい。②昨今、組合相互の友愛、連帯および助け合いといった大事な部分が失われつつあるのではないかと懸念している。地協として人と人のつながりを大事にした活動を進めたい。③地協構成の組織・人員が大きく変動する中、地協体制のあり方について様々な視点から検討する必要がある。などの挨拶がありました。

続いて議案審議では、第1号議案「地協登録組合承認に関する件」で、ジャパンディスプレイ労組鳥取支部の地協加盟を満場一致で承認され、その後すべての議案においても執行部原案通り、承認可決されました。



地協を代表し挨拶する石田議長



▲ 大会議長を務めた石賀さんと浅田さん(写真右)

【経過報告】

2012年度経過報告
2012年度決算報告・監査報告

【議事】

- 第1号議案 地協登録組合承認に関する件
- 第2号議案 2012-2013年度運動方針の補強に関する件
- 第3号議案 安来市議会議員選挙の取り組みに関する件
- 第4号議案 2013年度予算に関する件
- 第5号議案 地方連合への専従役員派遣に関する件
- 第6号議案 顧問委嘱に関する件
- 第7号議案 加盟組合提出議案に関する件

大会でご挨拶を頂いた来賓の皆さん



岡本 書記次長

電機連合本部



仲田 会長代行

連合島根



矢倉 理事長

島根労福協



岩田 幹事長

民主党島根県連

第20回定期大会 電機連合山陰地方協



山陰地協に加盟され、挨拶する筈委員長

ジャパンディスプレイ労組鳥取支部



電機連合
中国・四国
ブロック

ユニオンセミナーに参加して

11月15日(金)～16日(土)

香川県(宇多津)で開催されたユニオンセミナーに、一宮電機労組から私を含め2名で参加しました。2人ともユニオンセミナーへの参加は初めてで、これまで受けてきた各種セミナーとの違いを期待しつつ、瀬戸大橋を渡りました。

内容は、4つの講義とグループ討議で構成され、特に印象に残った講義は「電機産業の政策制度要求活動」でした。講師の方のプレゼンが非常に分かりやすかったということだけでなく、電機連合が政府や



政党と「協議」というカタチで電機産業のみならず、社会全体がより良くなるように政策制度の実現を訴えているという点は非常に感銘を受けました。こういった、電機連合の活動

が組合員のみならず、一般の方にも広く知れ渡って欲しいと強く感じました。

また、私が働いている会社と強く関係する「高効率モーターの導入促進について」というくだりは、まさに他人事ではないお話しでした。エネルギー事情の急激な変化が起こっている今こそ、高効率モーターへの転換を促して頂いて、消費電力の削減に努めるべきだと強く感じています。全世界でもっとも電力を消費しているのはモーターなのですから。これからも引き続き、粘り強く協議を重ねて、是非とも政策の実現を果たして欲しいと願っています。

最後に、他労組との交流の場としても素晴らしい出会いを与えて頂いたことに感謝します。



中島 圭さん

一宮電機労組鳥取支部



矢芝 かずみさん

三洋電機労組鳥取直轄支部

12月17～18日に、岡山で開催された『福祉担当者会議』に参加しました。

まず、倉敷にあるJFEスチール(株)西日本製鉄所へ工場見学に行きました。敷地が水島コンビナートの半分を占める広さで、敷地内に線路が走り、片側3車線の道路があり、しかも踏切、信号機も設置され、ほんとに工場内にいるのだろうかと思ってしまうくらい、とにかくその広さには驚かされました。メインの見学ですが、運悪く装置のトラブルで、鋼板が流れてくる所が見えませんでした。日本一厚い鋼板を製造していると聞いて楽しみにしていたので残念でした。

その後は、電機連合福祉共済の『けんこう共済』の制度改定や、新制度『ファミリーサポート共済』の説明、65歳以上継続加入者対象の『福祉共済会』設立の目的などについて、詳しく学習しました。2014年6月からスタートする『ファミリーサポート共済』は、組合員や配

福祉担当者会議に参加して

12月17日(火)～18日(水)

電機連合
中国
ブロック

偶者に万が一のことがあった場合に残された家族の日常生活費を保障する制度です。一番安い掛金490円(月額)の場合でも、月額約50,000円を5年間受け取ることが出来、しかも掛金が年齢で上がることもありません。一人でも多くの組合員に加入して頂けるよう呼びかけていきたいと思いますが、私自身も募集が始まったら即申し込みしようと思っています。

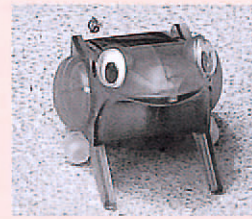
この研修には、初めて参加させて頂きましたが、日常の業務に関わっている内容ばかりでしたので、大変勉強になり、充実した2日間でした。





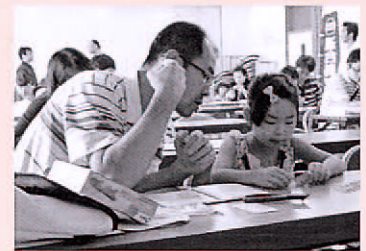
「電機・鳥取地域協」の労使で グッドヒル株式会社を見学

10月25日(金)、「第18回鳥取県電機産業労使懇談会」を電機産業に集う労組と企業の幹部・人事担当者間の情報交換の場として開催しました。グッドヒル株式会社(グッドヒル労組(産別はUAゼンセン)ご協力のもと)の工場見学を実施して、その後の質疑応答では、他産業の興味深い作業工程や地元で安定した事業をされていることに対して、活発に意見が交わされました。



「親子ものづくり教室」 小学生・保護者40名が参加

連合鳥取金属部門連絡会は、7月28日(日)ポリテクセンター鳥取で「親子ものづくり教室」を開催しました。小学生とその保護者約40名が参加し、「ソーラーかえる」と「木工時計」を製作。子どもたちからは「難しかったけど、楽しかった!」という声も多数聞かれ、親子での楽しいふれあいの場にもなりました。



連合鳥取第21回定期大会

11月22日(金)、倉吉未来中心で連合鳥取「第21回定期大会」が開催されました。大会では、組織拡大や雇用の安定とワーク・ライフ・バランス実現に向けての取り組み、連合鳥取の第3次男女平等参画推進計画などが確認されました。

鳥取・島根地域協からのホット通信



安来市議会議員 選挙で「田淵」さん、 「澤田」さんが 上位当選!

10月20日告示、27日投開票の日程で安来市議会議員選挙が実施され、島根地域協を中心に電機連合組織内公認候補『田淵秀喜』氏、『澤田秀夫』氏両名の必勝に向け取り組みました。今回の選挙戦は、議員定数の削減もあり、激戦となりましたが、見事上位当選を果たすことができました。ご支援・ご協力頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。



田淵 秀喜 氏(3期目)
[得票数1,229票 第5位]



澤田 秀夫 氏(新人)
[得票数1,156票 第7位]

連合島根第13回定期大会

11月1日(金)労働会館において、連合島根の第13回定期大会が開催され、2014年・2015年度の運動方針が承認・確立され、新たな体制のもとスタート致しました。

電機連合からは、安来市議会議員選挙での御礼と来たる県議選への取組み強化についての意見提起を行いました。



第30回地SUN地SHOW祭り

11月24日(日)くびきメッセにおいて『第30回地SUN地SHOW祭り』が開催され、島根県内の農産物、特産物の消費拡大に向けた販売・PR、連合島根構成組織で生産・製造されている商品等の展示など地産地消運動の推進取り組みが行われました。

当日は様々なイベントも開催され、約5,000名の来場者で大変、賑わっていました。

山陰地協構成組合紹介

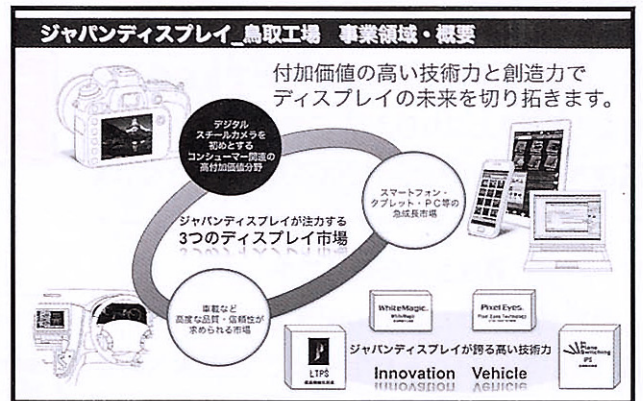
鳥取 -Tottori-

ジャパンディスプレイ労働組合鳥取支部

鳥取県鳥取市南吉方3丁目117-2

ジャパンディスプレイは、産業革新機構の出資により、ソニーモバイルディスプレイ、東芝モバイルディスプレイ、日立ディスプレイズなどの中小型ディスプレイ部門を統合し、2012年4月に事業開始をした会社です。スマートフォンなどに代表される中小型ディスプレイデバイスを扱っていますが、鳥取工場では、主に高い品質と信頼性を求められる車載向けディスプレイの開発設計、製造を行っています。

労働組合は、日立グループ連合、東芝グループ連合、労組のないソニー社員会メンバー有志が集まり議論し、2013年4月に結成、そして電機連合への加盟へと至りました。ジャパンディスプレイ労組として、茂原支部、深谷支部、東浦支部、本社支部、鳥取支部の5支部、約4800名の組合員がいます。鳥取支部においては、約500人余りの組合員数で、8人の執行部体制です。スタートしたばかりですので、まずは組合員へ組合活動を浸透させることに取り組んでいます。まだまだ発展途上で不慣れな点もありますが、JD労組鳥取支部をよろしくをお願いします。



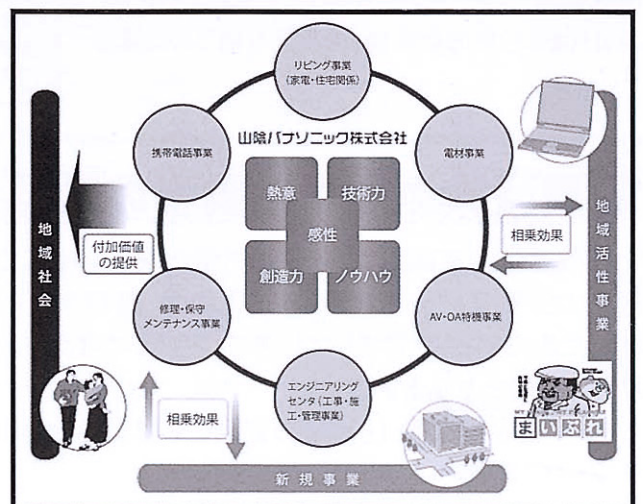
島根 -Shimane-

山陰パナソニック労働組合

島根県松江市平成町182-14

山陰パナソニック株式会社は、昭和33年に山陰ナショナル製品販売会社として創業し、本社は出雲にあり鳥取、倉吉、米子、松江、浜田に営業所があります。事業内容としては【家電部門】【住宅設備部門】【電材部門】【情報システム部門】【サービス部門】【エンジニアリング部門】【ドコモショップ】に分かれており、パナソニック商品の卸業を主とした商売を行ってまいりました。近年ではより地域に根差した会社と成るべく卸業の枠を超えて多岐にわたる商売を行っております。【山陰になくてはならない会社】を目指して全社員働いております。

労働組合は現在52年目を迎えており、組合員数は200名、その内8名の執行部で活動しております。会社との交渉はもちろん、組合員一人ひとりが元気に活気を持って働けるよう日々努力しております!鳥取市から益田まで営業所がありますので、一緒に仕事やプライベートでも関わる機会もあると思います。今後ともよろしくをお願いします!



ファミリー サポート共済

電機連合

〈遺族生活保障〉

組合員の期待に応じて

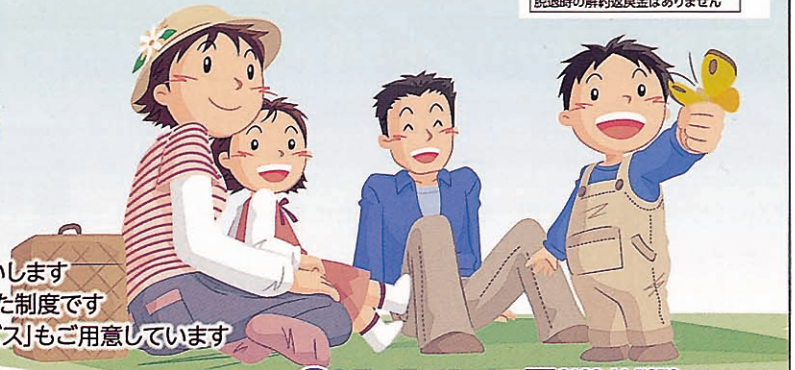
2014年6月
新登場

5つの特長

- 1 組合員または配偶者が死亡・重度障がいとなった場合にご家族へ共済金を年金方式(分割)でお支払いします
- 2 電機連合組合員57万人のスケールメリットを活かした制度です
- 3 万が一の場合に、ご家族への「精神的サポートサービス」もご用意しています
- 4 満65歳まで継続できます
- 5 毎月の掛金は便利な口座振替です

たとえば 月々の掛金**910円**で、約**668万円**
(月額約10万円/受取期間5年)を受け取れます

(組合員C05コースの場合)
受取総額概算額は、2013年6月1日現在の基礎率(予定利率等)で計算したものです
将来の基礎率(予定利率等)の変異により変動(増減)することがあります
積立型の貯蓄制度ではありません
脱退時の解約返戻金はありません



お問い合わせは… 電機連合 福祉共済センター ☎0120-11-7272 (フリーダイヤル)
☎03-3452-2825 (ファミリーサポート専用)

これまで死亡・重度障がい保障については、「けんこう共済アシスト」や「全労済の団体定期生命共済」を中心とした、家族への「一括受給」に備えてきました。しかし、「一括受給」だけで将来の生活を支える収入とはなりえず、日常の生活費は公的遺族年金等の需給だけでは不足しがちとなります。その不足分を補うための制度が『ファミリーサポート共済(遺族生活保障)』です。

組合員本人またはその配偶者が、万が一、死亡・重度障がいとなられた場合に、ご家族への共済金を「年金方式(分割)」でお支払いし、日常の生活費として利用してもらう経済的サポートを実現する制度です。

また、共済金受取人とその家族の健康や介護等の相談、年金や税金に関する一般的な相談に専門家がお答えする「精神的サポートサービス」も合わせて提供します。

ご家族に必要な資金は、「まとまった費用」と「日常の生活費」の2つに大きく分けられます。年金方式(分割)で受け取る『ファミリーサポート共済』は、「日常の生活費」の不足を補うのに適しています。

組合員の期待に応え、 電機共済はさらに魅力UP!

自信をもってお勧めします

ただいま募集強化期間です
ぜひ、ご家族で加入をご検討下さい

保証の見直しをしてみましょう 知って納得

掛金が割安にもかかわらず、幅広く手厚い補償

- 自宅療養でも給付(休業補償)
- ガンに手厚い補償
- 入院は初日から365日分までの支払い
- 日常生活やレジャーにも安心な特約
- 「ガン特約」ガンと診断確定されたとき一時金200万円

制度改定
配偶者の継続加入が可能となります

基本契約本人死亡時、配偶者の継続加入が可能となります

電機連合 福祉共済センター ☎0120-04-6488

11万人を超える
皆様の加入で

最大 **70.8%** 割引

※2014年3月31日以前に加入した方
※2014年4月1日以後に加入した方

月 日まで

未来の暮らしをもっと楽しく
もっと素敵に!

- スケールメリットを活かした制度
- 豊富な年金受け取りコース
- 安心な積立制度
- 税負担の軽減効果
- 便利な積立方法
- 65歳まで継続可能

自助努力のお手伝い
電機連合
ねんきん共済
悠々プラン
(国出資年金保険(生保) 積立年金共済(全労済))

助け合い、思いやり、
あなたに寄り添う
電機共済

お問い合わせは
電機連合 福祉共済センター ☎0120-10-6911

電機産業で働く労働者の最低賃金が決定!

電機連合山陰地協は、非正規労働者を含むすべての電機産業で働く労働者の労働条件改善を目的に、鳥取県・島根県における最低賃金引き上げのための審議に関与しています。2013年度は右記の内容で結審しましたのでお知らせします。

また、島根県鉄鋼・圧延業の審議にも参画し、今年度は775円(前年より+12円)で結審しています。

鳥取県

1時間 **738円** (前年より+2円)

発行日: 2014年1月9日

島根県

1時間 **707円** (前年より+7円)

発行日: 2013年12月29日